

あかるく 元気に
すすんで 学び
みんなと 仲良く

<地域と共に 生きる はぐくむ 育ち合う>



福島県立ふたば支援学校

Futaba Special Support School

教育目標

「地域で共に学び共に生きる」共生社会の形成に向けた特別支援教育を推進し、児童生徒が将来にわたって主体的で豊かな地域生活を送るための教育を行う学校

- 指導力の向上：第7次福島県総合教育計画、双葉郡教育復興ビジョンに基づき、児童生徒一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばすことができるよう、教員の専門性・授業力の向上に努めます。
- 地域に貢献できる学校：双葉域内の関係各機関と連携し、全職員一丸となった「地域支援センター」における相談支援等の充実を図ります。
- 性と生の教育：健康や安全に配慮した学習環境と職場環境を整備し、児童生徒の命や教職員の意欲と働きがいとを大切にwell-beingの実現を目指します。

校長 千葉秀樹

一人一人の特性に応じ、社会の一員としてたくましく生きる力と豊かな心を身に付けた児童生徒を育てる。

重点目標1 「多様な学び」

・一人一人の特性に応じた学び方を大切に、生きて働く力の基礎となる確かな学びを身に付けます。

重点目標2 「豊かな心」

- ・一人一人の人権を尊重し、自己肯定感や自己有用感を高め「心の命」と「体の命」に向き合います。
- ・交流及び共同学習から多様性と地域を愛する心を育てます。

重点目標3 「つなぐ」「支える」

- ・将来を見据え、児童生徒の進路実現に向けた地域の関係機関との連携を深めます。
- ・センター的機能を生かし、地域のニーズに応じた就学前から卒業後までの切れ目のない支援を行います。

- 1 自立活動の指導の充実
 - ・ 中心的課題の見直しと修正
 - ・ 合理的配慮としての必要に応じたICTの活用
- 2 教科学習の充実
 - ・ 小・中・高の12年間を見通したカリキュラムの設定
 - ・ 専科教員を中心とした教科学習の充実
 - ・ デジタルとアナログ教材の効果的な活用
- 3 各教科等を合わせた指導、総合的な学習（探究）の時間の充実
 - ・ 個別最適化された協働的な学びの場の設定
 - ・ 学習形態や集団構成の工夫

- 1 自己肯定感や自己有用感の育成
 - ・ 児童生徒の小さな変化に気づき、良さへの称賛
 - ・ 発達段階に応じた自己を大切にする生き方と相手を思いやる態度の育成
- 2 少人数を生かした活動の充実
 - ・ 集団を意識した多様な活動場面の設定
 - ・ 児童生徒同士や地域住民とのふれあい通した望ましい人間関係の育成
- 3 地域で生きる力の育成
 - ・ 楡葉町を中心とした双葉郡内の他校との交流及び共同学習を通じた地域の中での活動の充実

- 1 将来を見据えた進路指導の充実
 - ・ 地域の人材との交流や体験活動、産業現場等における実習を通じた地域社会の一員としての児童生徒の育成
 - ・ 地域の就労支援機関との丁寧な情報交換・共有を進め、双葉郡における実習先や進路先の開拓
- 2 地域の子どもたちを支える支援
 - ・ 双葉郡を中心とした本人や保護者、学校等のニーズに応じた「相談支援」「研修支援」
 - ・ 保健や福祉の行政機関等や関係する教育機関等とのネットワークを構築し、連携した対応
 - ・ 近隣の小中学校等を中心とした教員同士の学び合いの場の設定